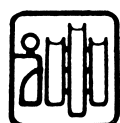


川奈神本製

2024年1月12日発行 No.174



神奈川県製本工業組合

明けましておめでとうございます

横浜支部

有限会社池下製本

上羽紙工

株式会社齋藤紙工所

有限会社三栄社

有限会社関製本

川崎支部

SRT株式会社

株式会社桜井製本紙工

株式会社篠原製本所

株式会社ユタカ製本

株式会社シュービ

年 頭 所 感

神奈川県製本工業組合 理事長 齋藤 民夫

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、各組合員並びに関係団体の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

旧年中は組合運営にあたり、組合員並びに関係団体の皆様の格別なご理解、ご支援、ご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年度から世界的なインフレと円安の進行により国内の物価が大きく上がってきております。政府の民間人への賃上げ要請なども上がり、最低賃金を含めて給与額は上昇してきておりますが、食品をはじめとした日用品の価格上昇は厳しいものがあります。

また、少子高齢化のますますの進展により、若年労働者の不足は全国的に慢性化しております。いわゆる人手不足倒産の企業も増えているのが現状です。

身の回りを見ますと、紙媒体からインターネット等のデジタル化が急速に進み、今やスマートフォンを一人一台持つ時代となりました。様々な情報を掌の小さなスマートフォン一台で扱えるようになり、ビジネスからレジャーまで大きく変化して参りました。

製本業界においても、デジタル社会に対応して新しい製本業の形を早急に作っていかねばなりません。しかし、すべてがデジタル化出来ることは無く、紙しか出来ない分野が必ずあります。業界の規模は今より小さくなっても、少数精鋭で紙を扱うスペシャリストとして製本に携わる者は生き残れるはずです。

当組合でも、売り上げ減少や後継者不足による廃業が進んできており、業界を取り巻く環境は年々厳しいものがありますが、製本業の未来を受け継ぐ若者たちが満足できる魅力のある職場・業界を作ることが、最大の課題と考えております。

本年度は、組合に入っていて良かったと思えるような施策を、皆で知恵を出し合ってやっていく所存です。そのためには、会合の量と質を高めて新しいアイデアを尊重していくべきと考えます。

本年が皆さまにとって明るく希望のある年になりますよう、皆さまの健康と繁栄を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

- 4月10日(月) 定例理事会
 時 間 午後7時～
 場 所 組合事務所
 出 席 齋藤理事長、津野、池下、関、村田、高久
 議 事 1) 各委員会、各支部 報告
 各支部長より活動報告がなされた
- 5月12日(金) 定例理事会、通常総会、懇親会
 時 間 午後4時～
 場 所 桜木町メルヴェーユ
 出 席 齋藤理事長、津野、池下、上羽、伊藤、白井、村田、高久
 議 事 令和4年度事業報告
 令和4年度決算報告
 令和5年度事業計画(案)
 令和5年度収支予算(案) 承認
- 5月19日(金) 神奈川県印刷組合 総会
 時 間 午後4時～
 場 所 ローズホテル横浜
 出 席 齋藤理事長
- 6月7日(火) 定例理事会
 時 間 午後7時～
 場 所 組合事務所
 出 席 齋藤理事長、津野、上羽、村田、高久
 議 事 1) 各委員会、各支部 報告
 各支部長より活動報告がなされた
- 6月20日(火) 神奈川県職業能力開発協会技能検定員
 6月26日(月) 同上
 6月27日(火) 同上
 場 所 佐川印刷厚木工場
 出 席 伊藤理事

7月1日(土) 商業印刷製本専門委員会(北海道大会)

7月7日(火) 定例理事会

時 間 午後7時～

場 所 組合事務所

出 席 齋藤理事長、高久

議 事 1) 各委員会、各支部 報告
各支部長より活動報告がなされた

7月8日(土) 全日本製本青年会福岡大会

場 所 ザ・ライブリー福岡博多

出 席 池下理事

7月28日(金) 日本グラフィックサービス工業会神奈川県支部 総会

場 所 ロイヤルホールヨコハマ

出 席 齋藤理事長

9月7日(月) 定例理事会

時 間 午後7時～

場 所 組合事務所

出 席 齋藤理事長、津野、上羽、池下、伊藤、村田、高久

議 事 1) 各委員会、各支部 報告
各支部長より活動報告がなされた

9月8日(金) 愛知県製本工業組合 藍綬褒章祝意会

場 所 名古屋観光ホテル

9月30日(土) 全日本製本工業組合連合会 大阪大会

場 所 シティプラザ大坂

出 席 齋藤理事長、伊藤理事、池下理事

横浜支部 5社

有限会社池下製本	〒232-0076	TEL 045-721-4671
池下 栄一郎	横浜市南区永田台 1-27	FAX 045-721-5217
上羽紙工★	〒240-0025	TEL 045-722-8590
上羽 哲也	横浜市保土ヶ谷区狩場町 11-4	FAX 045-722-8591
株式会社齋藤紙工所	〒220-0051	TEL 045-321-4131
齋藤 民夫	横浜市西区中央 2-37-6	FAX 045-320-1237
有限会社三栄社	〒237-0072	TEL 046-823-3981
津野 弘行	横須賀市長浦町 2-2	FAX 046-823-3366
有限会社関製本	新住所	(番号は変わりません)
関 光男	〒232-0015	TEL 045-713-4931
	横浜市南区共進町 1-1	FAX 045-713-4931

川崎支部 5社

S R T株式会社★	新住所	
(旧：伊藤製本株式会社)	〒213-0013	TEL 044-740-9211
伊藤 肅仙	川崎市高津区末長 2-33-52	FAX 044-740-9212
株式会社桜井製本紙工	〒210-0844	TEL 044-233-4406
桜井 勇二	川崎市川崎区渡田新町 1-1-2	FAX 044-233-3825
有限会社篠原製本所	〒230-0041	TEL 045-511-5123
篠原 昌宏	横浜市鶴見区潮田町 2-95	FAX 045-511-5126
株式会社ユタカ製本	〒252-0212	TEL 042-774-5511
白井 学	相模原市中央区宮下 2-15-3	FAX 042-774-1144
株式会社シュービ	〒224-0044	TEL 045-471-7707
村田 俊夫	横浜市都筑区川向町 787-1	FAX 045-471-7708

★支部長

全10社

記事

第 60 回記念大会

全日本製本工業組合連合会全国大会

大阪大会

スローガン

その一冊への情熱が新しい時代を切り招く

業界一丸で工夫をこらし、もう一度“忙しい”を取り戻そう

いざ新時代へ！

2023年9月30日シティプラザ大阪にて4年ぶりに全国大会が開催されました。

4年ぶりの全国大会という事なのか、組合員数が激減する状況のなかで、180名が全国から参加され、盛大に大会が始まりました。

講演会の講師は竹原信夫氏「日本一明るい経済新聞」編集長。元フジサンケイグループ日本工業新聞を経て独立し、年間500人もの中小企業の経営者を取材し、月刊「日本一明るい経済新聞」発行し元気な中小企業にエールを送っておられます。

講演のテーマは【元気な現場、元気な人にはワケがある】として、取材して来た中小企業の経営者からの体験、経験、取り組み方、社内の環境、（雰囲気づくり）が新しい開拓の企業の根本的な思想を生み出している事になるとジョークをまじえながら、楽しく講演を聞かせていただきました。特に厳しい時期に社員の前でイライラするより、笑って従業員と知恵を出しながら頑張っていく事の大切さを知らされました。

紙媒体の減少はどうしても避けられない状況の中で、印刷・製本という業界の中で、生きていく為のこころみは、今までとは違う形で本と言う言葉ではなく、歴史を残すと言う形に変わって来ている様な気がします。

大会に入り大会実行委員長 寺川 務氏（大阪工組・副理事長）より開会の辞があり式次第が進められ専門委員会報告では書籍雑誌は公正取引委員会との相談し適正な金額の進め、商業印刷は組合員の減少紙製品製本は繁忙期以外に新たなる取り組みの大切さ、手帳は5%～10%の減少にデジタル化（スマート

フォン・タブレット)の普及により発注の激減と、各部会よりかなり厳しい状況との報告が出されました。

来賓様の紹介と来賓様の祝辞を頂き大会宣言 全製工連 副会長 宮地 哲一氏より次回大会地福岡工組の紹介、閉会の辞 全製工連 副会長 鈴木 博氏と無事大会が終わりました。

大会が無事終わり懇親会になり大阪工組様の知恵と努力のお陰様で始まりから終わりまで、関西らしさの盛り上がる懇親会になりました。又4年ぶりと言う事でそれぞれの工組(組合員)様が顔を合わせ楽しく会話をされていた事が印象でした。

哀しい状況(組合員の脱退)もあちらこちらで耳にした事もたしかですが、2代目3代目と企業努力で後継者の紹介もあり、今後の業界が別の形になっても発展して行くことを信じ、参加された方々が大会を通してエールを送りあった大会となりました。



竹原信夫氏による講演会



寺川 務氏(大阪工組・副理事長)開会の辞



製本文化賞受賞者

全日本製本青年会 福岡大会 報告

全日本製本青年会の福岡大会が7月8日に福岡のザ・ライブラリー福岡博多で催され、60名が参加した。

大会テーマとして「進化」を掲げ、分科会・総会・大会・懇親会が行われ、これからの製本業界を生き残る為に必要なものは何か、活発な議論が交わされた。

分科会では仕事を出さない理由がない「最強の製本屋」を作ることをテーマにグループディスカッションを行った。各グループで話し合い最強の製本屋に必要な条件をまとめグループの代表者が発表し、全グループの意見を分類し、とりまとめた。様々な意見が集まるなか、津本会長(岡山)は良い人材が会社の強味になるのではないかとコメントした。

本大会では実行委員長の池下副会長(神奈川)による開会宣言、国家斉唱、黙とうに続き、津本会長の挨拶が行われた。

津本会長はコロナ禍により延期されていた活動が今年の北海道総会から再開し、今回こうして大勢で福岡大会が開催できたことを嬉しく思う。大会テーマに「進化」を掲げたように厳しい状況の中で「進化」が重要になる。この大会が有意義な話し合いの場となることを願っているとした。

続いて来賓が紹介され、来賓代表として全製工連の田中会長が挨拶した。

田中会長は大会テーマの「進化」をダーウィンの進化論や平家物語になぞらえて進化し続けることの必要性を説き、今仕事を頂けているのは必ず理由があるはず。その理由のなかにヒントがあるかもしれない。若い青年会には是非ともチャレンジし続けて欲しいと祝辞を送った。

懇親会では地元を代表して宮地理事長の挨拶から始まった。厳しい状況を打開するための「進化」をテーマに有意義な話し合いが出来たのではないかとし、中州を楽しんで下さいと述べた。

来賓からは富塚大阪工組理事長が祝辞を述べ、大阪工組の組員と共に9月に行われた大阪大会のアピールを行った。

安田岡山工組理事長の乾杯、京都製本親双会のアトラクション、次期総会開催地の神奈川のPRと続き、懇親会の中締めとして青年会の富岡顧問が挨拶をし、青年会は若い人が恥をかける場所。たくさん挑戦してたくさん恥をかいて成長し、製本業界を盛り上げて欲しいとして会を締めくくった。



編集後記

前号の173号を発行したのがコロナウイルスの拡散が始まった令和2年（2020）2月。以降組合活動は自粛し会合も中止の時期が暫く続いた。昨年ようやく5類に移行し、会合が再開された。しかしこの間、情報伝達の手段が飛躍的に紙から電子機器に取って代った。これにより各社受注量は大きく減少し、事業の継続を断念する組合員も多くなった。令和元年（2019）には15社いた組合員は現時点で10社に減少した。廃業した企業の仕事が残っている企業に回るかと思えばそうでなく、仕事そのものがどんどん消えている。今後の生き残りをかけて、世の流れを注視し先を読み、早急に自社で出来るサービスの見直しをする事が肝要だ。津野

製本神奈川 No.174

発行日	令和6年1月12日
発行人	齋藤民夫
発行所	神奈川県製本工業組合 〒220-0021 横浜市西区桜木町 4-20-1 ワイズビル601号
電話	045（228）9228
FAX	045（228）9286